令和５年度　江戸川区立二之江第二小学校　学校関係者評価　最終評価報告書

学校教育目標	～すすんで行う二小の子～ ◎思いやりのある子　○やりぬく子　○元気な子　◎考える子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	笑顔があふれ、活力に満ちた明るい学校 子供たちに夢と希望を抱かせ、自立する力を育てる学校 学ぶことの意義が実感できる教育環境を整え、特色ある教育活動を展開する学校
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞ 特別支援教育に関する専門的知識をもった教員が、担任や専科教員に研修等を日々行い、学校全体として個に応じた指導を実施すること。 ＜課題＞ 基礎基本の定着を確実に行い、学力の向上をすること。一人一台端末を使用した学習環境を再構築し、積極的に授業や家庭学習で活用していくこと。		

教育委員会重点課題	＜取組項目＞　・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	＜学力の向上＞ ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・基礎基本の定着を図るための朝学習 ・計画的な単元テスト・ドリルテストの実施 ・ドリルパークの活用 ・放課後補習による個に応じた指導 ・全国学力学習状況調査・学力の向上を図るための調査に基づいたPDCAの実践	・朝学習は、毎週水曜日、朝の15分間。国語は漢字、算数は計算問題を主とした取り組み。 ・週3回以上のドリルパーク学習 ・放課後補習の出席率80%以上 ・全国学力学習状況調査では、CD層50%以下	B	C	○朝学習を水曜日に行うことが定着してきた。主に国語や算数の東京ベーシクドリルやドリルパーク（週3回以上）等を活用してきた。 ○放課後補習の出席率は83%であった。 ●授業はじめに、前時間の復習を行い学習の定着を図ってきたが、まだ十分な成果が出ていない。継続する。	B	・補習出席率が、100%となるよう、家庭との連携をお願いしたいです。	・授業開始5分間や授業終了前等で、当該学年の復習を頻繁に行う。 ・漢字や計算については、年度末まで繰り返し取り組むようにする。 ・全国学力・学習状況調査の解き方を、外部講師を招聘し、児童への模範授業と教員への研修を行う。
	＜読書科の更なる充実＞ ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・読書活動の充実 ・読書科について、教員の理解を深める	・読書科ノートを活用した探究的な学習を行い、成果物の作成を掲示する。 ・担任、保護者ボランティア、図書委員による読み聞かせ ・読書科の教員研修を実施 ・教員図書の活用を促進する。	・探究的な学習を各学年、年1回以上。 ・研修2回／年 ・教員図書貸出20冊以上	B	B	○探究的な学習を各学年、年1回実施済み。6年生の作品を区読書科コンクールに出品した。 ○教員研修を年2回実施した。探究的学習の指導法を学び、各学年が工夫して指導できた。 ○朝読書では、担任や担任以外の教員、保護者による読み聞かせを実施した。 ○教員図書貸出は目標を超えた。	B	・えほんの会等、保護者の協力を今後も継続していただきたいです。	・探究的な学習を行った成果物を掲示し、他学年も学べる環境をつくる。 ・葛西図書館と連携し、図書ボランティアへの研修会の開催と、図書委員の児童への読み聞かせ会を行う。
体力の向上	＜運動意欲や基礎体力の向上＞ 運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に体を動かそうとする気持ちを高める。	・体育の主活動時間の確保 ・持久走全校集会、大縄集会等の全校エンジョイタイムに取り組む。	・体育の主運動時間25分間以上 ・体力テストにおいて、全国平均と区内平均を上回る。 ・体育の授業が「楽しい」と回答する児童が90%以上	B	B	○文部科学省の体育指導動画を視聴したり、教員図書で学んだりして教材研究をし、主運動時間を25分間程度確保した。 ○体力テストでは、東京都平均を上回ったのは8種目中5種目だった。 ●もっと体育指導について組織的に指導力を向上する必要がある。	B	・季節的な流行性ウイルスがあったりと、活動が難しいかと思いますが、休み時間を使うなど、積極的に外に出て、体を動かせるよう指導を望みます。	・各学年別に体力テストの結果を分析し、苦手な種目に対する学習指導を工夫する。
共生社会の実現に向けた教育の推進	＜特別支援教育の推進＞ ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・教職員向け特別支援研修会の実施 ・臨床発達心理士によるアセスメントの実施 ・巡回指導教員による研修会の実施、情報交換	・特別支援研修会　年5回 ・アセスメント　年6回 ・特別支援教育の充実について教員アンケート結果80%以上	A	A	○特別支援研修会を年5回実施した。 ○巡回指導教員やスクールカウンセラー、特別支援専門員等と学級担任が連絡を密に取り、情報共有を行ってきた。 ○臨床心理士によるアセスメントを年6回行った。 ○教員アンケートでは、80%以上が肯定的評価をした。	A		・巡回指導と学級指導との効果的な連携ができるよう、教員に対する研修を外部講師を招聘し行う。 ・続けて、巡回指導教員やスクールカウンセラー、特別支援専門員等と学級担任が連絡を密に取り、情報共有を行う。
子どもたちの健全育成	＜子どもたちの健全育成に向けた取組＞ ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hypaer-QUの活用	・不登校対策委員会の実施 ・不登校児童への一人一台端末の活用 ・スクールカウンセラーによる5年生全員面談の実施 ・SOSの出し方に関する教育 ・hyper－QU実施後の活用研修の実施	・不登校対策委員会　月1回 ・一人一台端末の活用　週1回 ・保護者アンケートによる生活習慣や情報モラル意識の向上80%以上 ・SNS学校ルール、タブレット学校ルール、家庭ルールの達成率90%（児童アンケート） ・hyper－QU実施後の活用研修　年1回	B	B	○月1回の不登校対策委員会を実施した。 ○不登校傾向のある児童にも、端末の活用ができた。 ●SNS学校ルール等の達成率が低い。改めて指導を徹底し、一人一人が意識して守っていけるよう指導する。 ○いじめ継続案件はなかった。未然防止・早期発見に努めることができた。	A	・関係各所より発信している書面やデータ・諸会を活用し、展開していただけると、もっと良いかと思われます。 ・現tetoruにて、継続してください。	・いじめの未然防止や早期発見できるよう、弁護士を招聘し、法に基づいたいじめ防止対策研修会を教員対象に行う。 ・登校ボランティアと連携し、朝の登校を支援する。
地域に広く開かれた学校（園）の実現	＜自校（園）の取組の積極的な発信＞ ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実	・学校ホームページに、学校便りや学校行事の写真の掲載 ・学校公開の実施 ・学校説明会の実施 ・道徳授業地区公開講座の実施	・学校ホームページへの掲載　月6回以上　各学年の写真を掲載 ・学校公開　年4回 ・学校説明会　年1回 ・公開講座　年1回	A	B	○教育活動全般について、積極的に月6回以上学校ホームページに写真を掲載した。 ○学校公開年4回、学校説明会年1回、公開講座年1回実施した。 ○tetoruを使って、学校だよりや各学年だより、各種おたよりを配信開始し、より早く、確実に保護者に情報提供できるようにした。	A	・今後も、情報共有をお願いします。 ・現tetoruにて、継続してください。	・積極的に、学校ホームページに教育活動全般について写真を掲載する。 ・学校ホームページが新しくなるに伴って、見やすく分かりやすいホームページに変えていく。 ・区教育委員会からのお知らせを、積極的にtetoruで保護者に発信していく。
	＜学校関係者評価の充実＞ ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学校評議員会の開催 ・学校関係者評価の実施 ・学校評価の実施（保護者評価・児童評価・校内評価） ・各学級で学習、生活アンケートの実施	・学校評議員会　年3回 ・学校関係者評価　年2回 ・学校評価　保護者評価・児童評価・校内評価　各年1回 ・各学級でアンケート　年3回	B	B	○学校評議員会年3回、学校関係者評価年2回、学校評価各年1回等、実施した。 ○それぞれの評価等での成果と課題を明確にし、改善を行った。	A		・学校評価アンケートの結果より、課題については校内で十分検討し、よりよい学校となるよう改善改革を行っていく。
特色ある教育の展開	＜蓮の育成＞　蓮植えと蓮堀りを通して、蓮や地域等について理解を深める。	・蓮田に、蓮を植え（4月）たあと、蓮堀り（10月）をする。 ・総合的な学習の時間で、蓮等について学習しまとめる。	・児童の参加　95%以上 ・蓮や地域等について、興味関心が上がった児童80%以上	A	A	○95%以上の児童が参加し、蓮田の環境を整え、蓮植えと蓮堀りを実施した。 ○学んだ成果物を、周年式典に合わせて掲示した。 ○蓮や地域等について、80%が興味関心が上がった。	A	・伝統の継続をお願いします。	・蓮田の管理を続けて行う。 ・学習したことを掲示し、他学年も学べる環境をつくる。